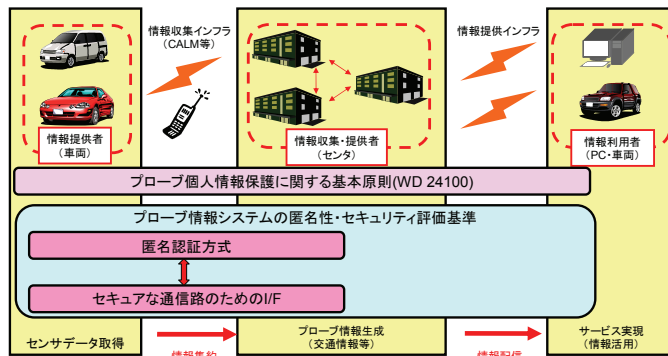


匿名認証方式を用いたセキュアなプローブシステムの検討

プローブ情報システム

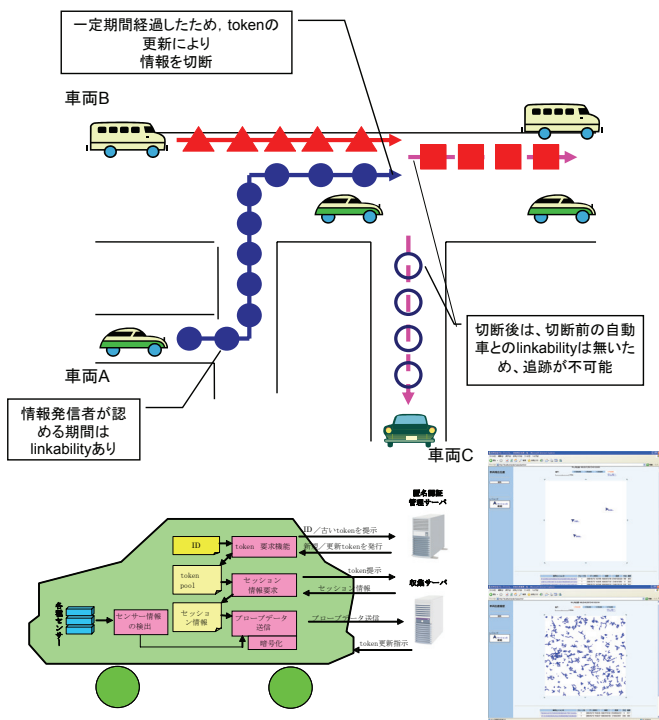
プローブ情報システムとは？

- 車からの情報(スピード、ワイパー利用状況 など)を収集して、二次情報へ利用
- 各国で盛んに開発・展開
- 共通のフレームワークは存在していない
- データ提供者は不特定多数
- 普及展開にはシステムの技術的な構築性と共に、ユーザが安心して情報を提供できる環境が必要
- “プローブ情報サービスにおける個人情報保護の基本原則 (ISO/TC204/WG16 WD24100)”
 - プローブにおける個人情報の取り扱いの指針
 - より具体的な共通ルールや、システム構築の際のリファレンスが求められている
- Probe vehicle systems
 - should be secure (安全に対する措置を講じるべきである)
 - should protect personal data /privacy (個人情報・プライバシーを保護すべきである)



プライバシーを保ちつつ情報収集できる仕組みを！

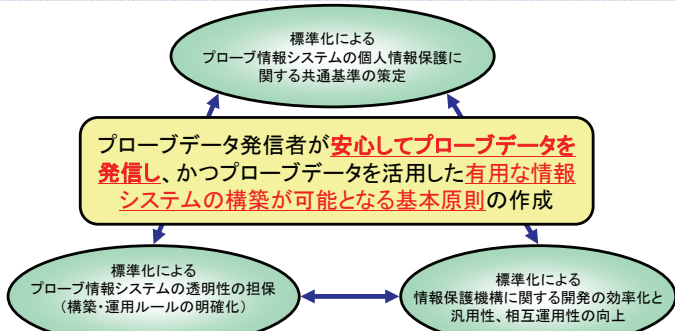
提案手法



匿名認証 (SENSU方式)

- サービス提供者が権利を渡した人のうち、どの人が要求してきたのかわからない
 - つまり、サービスを受けている人が一人だったばあいは、匿名ということとはできない
- そのまま利用すると、全ての情報が分断される
 - 場合によってはリンク(Linkability)が必要なときも
 - サービス提供者・ユーザが選択できるように
- 昨年までの実験
 - 昨年の実験で権利証の更新において、更新が270-300ミリ秒間が適切であるとわかった
- 今年度の実験内容
 - 方針
 - 匿名認証を利用したプローブ情報の収集において、本当にユーザのプライバシーが保たれているながら、どこまで長い距離を捕捉できるのかについて検討を行った。
 - 方法
 - H14年名古屋、H13年横浜で実際に行われたプローブカーの実証実験データを利用し、時間、空間それぞれの複数の長さで切断し、データの取得を行った。

最終ゴール



プローブ情報システムにおける個人情報保護の基本原則を検討し、国際規格提案を行う